

事業所名	上越市子ども発達支援センター（児童発達支援）				公表日	2025年3月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が療育室等のスペースとの関係で適切であるか。	10			
	2	職員の配置数は適切であるか。	10			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		スケジュールボードや絵カード等の視覚支援ツールを活用し、お子さんの発達段階に応じた環境上の配慮を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・毎日清掃を実施し、室内及びお子さんが触るものについて清潔な状態を保ち、危険なものが周りにないよう、環境整備を心掛けています。 ・冬期活動では発達支援等を行う部屋の状況に応じ、カーペットやヒーターを設置する等の防寒対策を行っています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		お子さんが集中して取り組めるよう、活動内容によって部屋を決めるなどの工夫を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		職員会議を定期的に開催し、職員全員が話し合いに参加しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		日頃の支援時や事業所評価の内容から、保護者の意向や課題を整理し、業務改善やサービス向上につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		外部講師による研修等を実施し、職員の資質向上を図っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（個別支援計画書）を作成しているか。	10		家庭や保育園等の情報を収集した上で、お子さんの発達状況を保護者と共有し、個別支援計画書に反映しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		KIDS、遠城寺式・乳幼児分析的発達検査等のアセスメントを行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		保護者や保育園等の情報から複数の職員でお子さんの実態を捉え、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・保護者や保育園等の情報を織り交ぜながら、複数の職員でお子さんの実態を捉え、活動プログラムを立案しています。 ・親子支援は、集団の成長等に応じ、複数の職員で活動プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	子どもの状況に応じて、子どもの特性に合わせた活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10				
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10				
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育園や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10				

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10				
	28	(28~30は、センターのみ回答)	10				
		地域の他の児童発達支援事業所と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	10				
	30	自立支援協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10				
	31	(31は、事業所のみ回答)	/	/			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	/	/			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10					
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	1	親子支援を利用している保護者や、吃音の心配があるお子さんの保護者を対象に「お話し会」を開催しています。加えて、発達等に悩みを抱える保護者が交流できる会を開催しました。	今後も、保護者同士で交流する機会を増やせるよう取り組んでまいります。	
	40	保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	2	子育て応援講座通信を年2回(11月、1月)発行しています。	・子育て応援講座通信の発行をご存じのない方がいらっしゃることから、発行方法を見直し、情報が行き渡るよう周知に努めます。 ・事業所評価の結果はホームページ等にて公表していますが、個々にしっかりと伝わるよう説明してまいります。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		福祉交流プラザの「ふれあいフェスタ」において、こども発達支援センターの取組を体験していただき、センターの活動内容を周知しています。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル及び事故対応マニュアル、災害発生時における行動マニュアル・不審者侵入時におけるマニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		事故防止、事故対応、災害発生時、不審者侵入時、感染症の対応等についてマニュアルを作成し、日頃から研修や訓練を実施しています。		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		業務継続計画(BCP)を基に災害時の対応についてマニュアルを作成し、避難訓練を行っています。		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	/	/	当センターでは食事やおやつの提供は行っていません。		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットがあった際は上司と話し合い、改善点を事業所内で共有しています。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		虐待防止のための指針をもとに、虐待防止に関する職員研修を実施しています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		身体拘束等の適正化に関する指針をもとに、身体拘束等適正化のための職員研修を実施し、適切に個別支援計画書に反映しています。			